

地震の揺れから身を守るために！

～ 熊本地震から10年 ～

日本は、世界有数の地震大国で、これまで多くの地震や津波による災害を経験してきました。例えば、平成28年の熊本地震において、最大震度7の地震が2度発生（4月14日と16日）したほか、一連の活発な地震活動によって、**甚大な被害**を受けました（右写真参照）。大きな被害をもたらす地震は特定の地域に限って発生しているわけではなく、全国各地で発生しています。

■地震から身を守る行動の具体例

地震の揺れは突然襲ってきます。いつ大きな揺れに見舞われても身を守ることができるように、屋内・屋外問わず周囲の状況や避難経路を確認し、揺れに備えましょう。

< 日頃からの備えの例 >



2016年熊本地震の被害（災害時地震報告 平成28年（2016年）熊本地震より）

< 参考（地震から身を守るために）>

気象庁HPのURL:

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/jishin/jishin_bosai/index.html



✓ **備蓄・非常持ち出し品の準備**
非常時の水・食料の備蓄や、非常用持ち出し品を準備しておきましょう。

✓ **安全スペースの確保**
室内になるべくものを置かない「安全スペース」（ものが落ちてこない・倒れてこない・移動しない空間）を作っておきましょう。

室内の備えのイメージ
（資料：東京消防庁）



✓ **周囲の状況の確認**
普段通る道に危険な場所やものがないか確認しておきましょう。また、地盤の弱い場所や地震によって地盤の緩んだ場所では、降雨などにより土砂災害が発生することがあります。前もって周囲の状況を確認しておきましょう。

✓ **連絡手段の確認**
地震が発生したときの連絡手段や集合場所について、あらかじめ家庭で話し合っておきましょう。

✓ **家具の固定**
家具を固定しましょう。また、万が一倒れてきた場合でも、通路をふさがらないような配置を考えましょう。

✓ **訓練に参加しよう**
本当に地震が起こったときに、あわてずに身の安全を図ることができますか？積極的に訓練に参加しましょう。



地震に関する情報は
沖縄気象台ホームページまで

<https://www.data.jma.go.jp/okinawa/index.html>

沖縄気象台

Q 検索

